

### (1) センターの体制

2013年10月1日に1名体制で開設した。

### (2) 開設までの経緯と経過

現在、超高齢化社会を迎えるにあたって、全国各地でそれに備える取り組みが行われている。特に当院周辺地域は高齢化・単身世帯の増加が著しく、宇城市三角町、上天草市大矢野町・松島町の高齢化率は県の平均を大きく上回っている。そんな中、当院でも超高齢化社会への対応と関係機関との連携強化を目的に、2013年度、居宅介護支援事業所を開設することとなった。

居宅介護支援事業所を開設するにあたり、5月20日～8月9日まで、近隣の連携機関にて、居宅支援事業の立ち上げ、居宅業務、請求業務について指導を仰いだ。研修終了後は、居宅申請書類の作成、業務に必要な書類の整備と物品の準備等を進めた。

### (3) 開設後の実績

10月に開設し、契約者延数は10月1名、11月2名、12月4名、2014年1月7名、2月8名、3月10名であった。うち地域としては、宇城市三角町が7名、上天草市大矢野町が4名、上天草市松島町が2名であった。要介護度別利用者延数では要介護1が4名、要介護2が4名、要介護3が6名、要介護4が9名、要介護5が2名であった。緩和ケアに関しては、2名の方を担当した。暫定プランで介入し、介護保険と医療保険を利用することで、在宅で1ヵ月程過ごされ、最期を病院で迎えられた。本人の希望と家族の受け入れがあれば、短い期間であれ住み慣れた場所でサービスを利用し、生活の支援ができると感じた。

契約者の紹介元は、本人・家族から直接の依頼は少なく、MSW・病棟からの紹介が殆どを占めている。このことから分かるように、院内スタッフとの連携が重要であり、また開設してまだ5か月でもあるので、院内への周知、地域への発信も継続して取り組んでいきたい。

### (4) 次年度の計画

平成26年度介護報酬改定及び区分支給限度基準額の引き上げに対応しながら介護支援専門員として、住み慣れた自宅で自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の心身の状態に応じ、又、利用者・家族の希望に沿った居宅サービス計画の作成に努めたい。また、在宅生活継続への

支援、医療機関との連携、利用者の尊厳を確保、関係機関との連携と協働に力を入れ、年度末には、契約者数30名／月を目指したい。

また、地域に当事業所の周知ができていないと思われるため、出前・健康講座などの際にパンフレットを配布するなど、広報活動にも力を入れていきたい。